



北本市立南小学校だより

わかみどり

URL <http://minami.city.kitamoto.lg.jp>

令和6年 7月号

〒364-0032

北本市緑3丁目387番地

TEL 048-591-4709

FAX 048-591-5802

学校教育目標 **みんな なかよく みどりの学校** 「かしこく げんきな 南っ子」

感謝・喜びを伝える「横の関係」での「言葉かけ」

校長 酒井 一昭

令和6年度が始まって、あっという間の3か月でした。その間、保護者の方に来校していただく機会も毎月のようにありました。4月23・25日には「授業公開・懇談会」、5月17日には「引き渡し訓練」、そして6月17日にも「授業公開」が行われました。1年生は4月の「入学式」、5年生は「やまびこ学校」の説明会も参加していただきました。様々な機会を通して本校においていただき、ご理解・ご協力いただいていることを改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

保護者の皆さまに学校に来ていただくことによって、普段とは違う環境なので学校にも子供たちにも良い緊張感があるように感じております。「引き渡し訓練」の時には、保護者の方がいることの安心感なのかいつもより落ち着きがなかったのですが、17日の授業公開では、どの教室もいつもより緊張感が漂う中、子供たちは日頃の成果を見てもらおうと、精一杯活動していました。授業をご覧いただいた感想や何かお気づきの点がありましたら、担任までお知らせください。

最近、子供と話していると、つい注意が多くなってしまったり、高学年になると、子供がなかなか話をしてくれない……といった声を保護者の皆様から聞くことがあります。

そんな中、次のようなことがあった、ということで少し考えてみてください。

家でお手伝いをほとんどしない子がいます。その子がケーキ作りに興味をもち、家族と一緒にチーズケーキを焼きました。普段はやる気がないのに、この時は頑張っておいしいケーキができました。ほとんどお手伝いをしない子だったので、家族は大変喜びました。

保護者の皆様がこの子の家族だったら、ケーキを頑張った子にどんな言葉かけをしますか？ 多くの人は、きっと次のように考えたのではないのでしょうか。

「おいしいのができてよかったね。」 「がんばって作ったね。えらいね。」

「やればできるんだね。またおいしいものを作ってね。」 「手伝ってくれてありがとう。」

まだ、他にもあるかもしれませんが、「ほめることは大切だ」ということで、上記のように考えた人は多いと思われま。実際、私も最初は、そのように考えていました。ところが…

「一緒に作れて楽しかったね！」

という声のかけ方もあるのだそうです。これは、作ったことの喜びを子供と共有している「横の関係」です。これに対して、「がんばって作ったね。」というのは、採点を付ける人と付けられる人という「縦の関係」になります。

では、どちらの方が子供にとって嬉しいのでしょうか。

私たち大人は、子供との関係で、知らず知らずのうちに「よくできました。」という観点、つまり「縦の関係」だけから子供を褒めてしまっているかもしれません。

もちろん、ほめることは大切なのですが、大切なのはその「ほめ方」です。いつでも「いいね」「えらいね」だけではどうでしょうか。「協力してくれてありがとう。」「一緒にやれて楽しかったね。」などという観点、つまり「横の関係」の中で、子供と喜びを分かち合う態度や感謝の気持ちをもつことも必要なのではないのでしょうか。

私たち教師は、言葉かけもプロでなければなりません。保護者の皆様と一緒に本校の職員も、感謝の気持ち、喜びの気持ちを伝える「横の関係」での言葉かけを、学校でも多くしていきたいと思ひます。

ご家庭でも実践していただければ幸いです。

